

## 特別レポート

# IoT 化が進む現場における 人と機械の新結合

## IVI シンポジウム 2017-Autumn

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ (IVI、東京都中央区：西岡靖之理事長＝法政大学教授) は 10 月 12 日、名古屋国際ホテルで「IVI シンポジウム 2017-Autumn～IoT 化が進む現場における人と機械の新結合～」と題したシンポジウムを開いた (日刊工業新聞社など協賛)。IVI はデジタル化社会に対応した次世代のつながる工場を、企業や業界の枠を超えて実現するための団体。2015 年 6 月に発足し、2016 年 6 月に一般社団法人化した。シンポジウムは毎年 10 月と 3 月に行っており、昨年度までは東京のみでの開催であった。今年度からワーキンググループを東京・名古屋の 2 カ所で行っていることもあり、製造業の企業が多い中部地区で初めて開催し、約 350 名が参加した (写真 1)。

来賓挨拶として中部経済産業局地域経済部次長の三橋一美氏を招いた。基調講演は「ものづくり

の未来と日本的な価値創造」と題してトヨタ自動車顧問・技監で中部品質管理協会会長の佐々木眞一氏 (写真 2) からトヨタの考え方や具体的な事例の紹介。そのほか IVI の業務シナリオの最新情報や IVI オピニオンとして IVI 理事長の西岡靖之氏 (写真 3) から「デジタル化による大競争時代で日本の企業は生き残れるのか?」と題して、過去の半導体産業を事例にしながら現在の日本の立ち位置等について講演。その中で講演の一部を紹介する。

### トヨタ式 IoT 構築とは?

#### 基調講演

#### 「ものづくりの未来と日本的な価値創造」

トヨタ自動車顧問・技監

中部品質管理協会会長 佐々木眞一氏

1970 年にトヨタへ入社した当時は 6 つくらい  
の車名であった。グレードもスタンダードとデラ  
ックス。オプション、バリエーションは少なか  
った。最近、車名を 60 から 30 の半分にする  
と発表した。現在はグレードもさまざま、以  
前はパッケージオプションだったが、現在は  
個別オプション。お客様の要望もあり、いわ  
ゆるマスカスタマイゼーションになっていて、  
IT に頼らざるを得ない。個別仕様、個別  
オプションの中で最後に纏めて検査をする  
ことになるとう大な時間がかかり、物理  
的に検査できない。都度、工程内できっち  
り品質保証をしなければならない。品質  
保証の仕組



写真 1 中部での初会合に参加者多数